

発行：NPO法人「地域人権みんなの会」

2008年1月15日

岡山市下伊福西町1-53 TEL&FAX 086-254-9555 <http://minnanoie.org/> 発行責任者 中島純男

70人が参加 難しかったけど、奥が深かった!?講演 シンポのパネラーに共感の声

「教育と人権について考える学習集会」 12月3日

「子どもたちの現状と未来について、教育と人権の視点からともに考えてみませんか」と12月3日、NPO地域人権みんなの会主催による「教育と人権について考える学習集会」が、岡山国際交流センターで開かれ、約70人が参加しました。

「人権としての教育」と題して講演した東京大学の堀尾輝久名誉教授は、「現在福祉と教育費の削減、エリート



育成のために競争と自己責任が教育に持ち込まれ、子どもの生活と学習条件は悪くなっている」とし、ルソーの「人間は生き始めると同時に学び始める」との言葉を引用しながら、「子どもは充実した子ども期を過ごすなかで、教育が生きる活動と結びつき、人間らしく成長、発展できる」とのべました。

続いたシンポジウムでは、子どもと教育県民の会・田中博事務局長から「教育基本法の改訂と全国学力テスト実施後の岡山における教育の現状と人権」、障岡連・吉野一正事務局長が「どんな障害があっても義務教育を受ける権利の主体者としての教育権保障」、DCI岡山セクション・三宅良子代表から「二度にわたる国連からの『勧告』に背を向ける日本で、競争の政策の中にいる子どもと権利条約の現状」について、それぞれ発言がありました。

会場からの発言も受け、最後に堀尾教授が、「教育も人権なんだということを、人権教育の中で広げる必要がある」と発言をまとめました。

参加者から「堀尾先生の話はとても深い内容で、紹介書物もたどってみたい」「人権としての教育の観点をもっと深めてみたい」などの感想が寄せられていました。(次ページに集約表)

今年も引き続き、よろしくお願いいたします。

2008年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新たな決意で新年を迎えられたと存じます。

NPO・地域人権みんなの会は、01年12月の結成ですからもう6年も経過したことになります。学習会の開催や、小規模多機能型居宅介護事業所「みんなの家ななくさ」の開設・運営などその存在の意義はますます大きくなっている、と実感しています。

今日の地域社会では、貧困と格差が、そしてその原因が個々人の自己責任であるかのような風潮が押し付けられていると思います。NPO組織としても、住民や行政との協働と同時に、地域社会から人権が確立されていくための政策や理論的な提起が求められています。透明性、公益性、公共性をもつ組織ゆえの強さを発揮するときでもあります。今年も6月には総会を開催したいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

NPO・地域人権みんなの会 会長 中島純男

【12月3日/「教育と人権について考える学習集会」】

1.あなたの所属は

教員	行政	一般市民	マスコミ	みんなの会	その他	計
10人	0人	5人	1人	7人	2人	25人

2.学習懇談会についてご意見をください

(1)日程、会場の設定について

教員	・駅の近くでとても良い	2名
	・会場は良い、日程が土、日の方がいい	1名
	・どちらも良い	3名
	・駐車場がある会場にしてほしかった、日時は良い	1名
	・特になし	3名
一般市民	・良い	2名
	・平日なら夜の設定になるのはやむおえない……	1名
	・特になし	2名
マスコミ	・良い	1名
みんなの会	・会場が広くて良い	2名
	・会場が便利の良い場所でした	1名
	・平日の夜6時開会に参加者には厳しい	1名
	・講師の都合もあるが休み明けよりも休み前の方がいい	1名
	・特になし	2名
その他	・質問の時間があって良かった	1名
	・特になし	1名

(2)講演、シンポジウムの内容について

教員	・内容が盛りだくさんで欲張りすぎたのではないかな今日のような学習会は大変意義あることだと思います	1名
	・堀尾先生の話はとても深い内容なので紹介のあった書籍をたどってみたい指針のようなものを改めて考える機会になった	1名
	・講演は深いお話で勉強になりました、もう少し子どもの権利 について聞きたいと思いました	1名
	・シンポジウムはいろいろな話が聞けてよかったです	
	・論点を絞って深く学びたい	1名
	・講演は少し難しいと感じましたシンポジウムは大変よかった	1名
	・子どもの権利と子どもの人権ということをせいりしてみます「子どもの権利をくぐらせて人権を保障する」は興味深い言葉でした	1名
	・良い	1名
	・講演は専門家でありながら解り易かったシンポジウムは各分野の現状が解り、ありがたかった	1名
	・講演は戦前から戦後への流れを人権の視点から捉える上で大変参考になりました	1名
	・シンポジウムはそれぞれの立場からの提起があり今、何が問題なのか考えさせられました	
	・戦後レジュームの捉え方がよくわかった学力テストの問題、障害児教育の現状も良く解った	1名
一般市民	・現在の貧困と格差の問題が子どもたちにも大きな影を落としていると思いました、それは田中さんの提起の中にあった朝食をとれるかとれないか、また家で宿題ができるか、できないかという家庭の格差があるという問題は重大だとおもいました	1名
	・堀尾先生から「9条の会」、「オーバービー博士」の話が出て痛快だった、また奈良県へ居住していた際に博士のお話を2回ほどお聞きしたことがあり尊敬する人物である 吉野さんの障害者に対する日本の取り組みの未対応さには驚いている、私にも養護学校を卒業した甥がおり、現実として理解できた	1名
	・勉強になりよかった	2名
	・特になし	1名
マスコミ	・特になし	1名
みんなの会	・講演は音量が小さかったのか、語尾に聞き取りにくい部分があったシンポジウムは音量が大きくなった分、聞きやすかった	1名
	・講演は戦前戦後のレジュームについてのみに感じられた聞き取りにくかったまたシンポジウムは中身は解り易く聞き取り易かった	1名
	・とても充実した内容だったと思います	1名
	・人権の歴史について学ぶことができたがレジメと内容が違ふ子どもの権利についての話に絞ってもう少し聞きたいと思う	1名
	・久しぶりに教育について学校の現状など学習できて良かった子どもたちが大人をどんどん追いついていくようだ(考え方・経験)	1名
	・障害のある子に教育を受ける権利をもっと与えてほしい	
	・講演とシンポジウムを2時間30分で行うのは少し無理な気がしますシンポジウムの3人の発言の中身をもっと聞きたかったです	1名
	・それぞれのテーマが時間の関係で、聞く側が消化不良になった学習へのきっかけにしてゆきたいと思います	
	・吉野さんへたった15分でのお話でしたが色んな中傷の言葉は私が生きてきた時々で耳にした会話でした良く解りました	
	・そうです「食して、寝て、排泄」だけが生きる権利ではない15分間は貴重な数分でした、要求に応えることが権利なのですね	1名
	・今晚は私にとって入門編です私なりの応え方ををしていきます	
その他	・教師と教養・教育内容について詰めてうれしい、教師の教育を	1名
	・特になし	1名

(3)運営について

教 員	・シンポジストの方に最後に、もう一度発言してもらいたかったです	1名
	・良い	6名
	・特になし	3名
一般市民	・良い	1名
	・特になし	4名
マスコミ	・特になし	1名
みんなの会	・内容が大きすぎてもう少しシンポジウムに絞って論議したい	1名
	・良かった	1名
	・特になし	5名
その他	・特になし	2名

(4)その他、全体を通してのご感想など

教 員	・忙しい中、このような学習会を設定してくださって感謝しています	1名
	・複数の分野の人たちからの話が聞けて大変参考になった	
	・歴史から説明するのでどうしても最後の話題のあたりが時間不足になってしまうのが残念です多くの会で尻切れトンボになることが多い	1名
	・時間不足はやむおえないが残念	1名
	・良い	1名
	・特になし	6名
一般市民	・子どもの権利ということは、一般的にある人権ということにとどまらず子ども期の子どもの権利があるという認識を持ちました	1名
	・行政・教育委員会の方々や現役の教師の参加がもっと多ければ良いのですが・・・	1名
	・もう少し時間がほしいです	1名
	・教育と人権について改めて考えたいと感じさせられました	1名
	・現在の教育では「日中15年戦争」、「残留慰安婦」などアジアの現実 を全く教えないと聞いていますが、これでは中国、韓国等のアジア諸国が靖国参拝を拒否しているのもうなづける、事実は教育で教えるべきだと思います	1名
マスコミ	・特になし	1名
みんなの会	・せっかくの良い企画ですのでもう少し多くの人が参加できると良かったですね	1名
	・幅広く人権について学ぶことができましたがやや専門的すぎるところもあり、もっと解り易いとよい	1名
	・人権という言葉の深さについて考えさせてもらいました	1名
	・とても良い資料でした	1名
	・特になし	3名
その他	・特になし	2名

3.あなたが今後、学習の対象にしたい分野、関心をよせられている課題、疑問などあれば教えてください

教 員	・格差社会問題、学ばない、働かない若者について学習したい	1名
	・子どもの権利条約と日本の現状について	1名
	・小学校では英語教育について一部では『悪』 のように言われるが英語を使って、他の国の人たちと仲良くしていくことは日本の国の将来のために不可欠だと思う、また必要性が言われながら教員は研修する機会もなくどうなっていくのか不安です臨時職員の多さ、どうして教員が増えないのか、かなり深刻なところも多いと思います	1名
	・人権としての教育の観点をもっとかみくだいて、深めていくような集会をもっとほしいです	1名
	・日本の子どもの学力が低下しているというのは本当なのか疑問です	1名
	・特になし	5名
一般市民	・憲法の人権について深め、人権ということから憲法を語れるようになりたいです	1名
	・特になし	4名
マスコミ	・特になし	1名
みんなの会	・特になし	7名
その他	・人権としての教育という考え方がまだまだ国民に十分認知されていなのが残念です、この考えを普及させることが大切だと思います	1名
	・生涯教育	1名

紹介します

これから開催される「岡山県人権啓発パートナーシップ推進事業費補助事業」

NPO・地域人権みんなの会が07年12月3日に開催した「教育と人権について考える学習集会」は、07年度から創設された「岡山県人権啓発パートナーシップ推進事業費補助事業」の一つです。全体では、10団体の企画が対象とされています。すべてNPO団体が受け皿となっています。NPO法人のみが対象であることに問題意識をもちますが、この傾向は3年間は続くという見通しです。対象団体の枠の拡大は一定数増やしていくという流れです。(08年予算要求では20団体、2月議会で審議されます)

07年度予算対象となった10の事業のうちこれから開催される、NPO・地域人権みんなの会に、案内をいただいた企画を紹介します。

主催団体	開催日時	場 所	企画内容	備 考
NPO 法人 岡山県国際団体協 議会 Tel086-254-8020	1月26日(土) 午後1時30分	岡山国際交流センター (岡山市奉還町2-2-1)	多文化共生社会って 何?	第2回は2月10 日
NPO 法人 ステップハウスわ Tel086-222-8686	1月27日(日) 午後1時30分	さん太ホール (岡山市柳町2-1-1)	映画上映 ① ファザーレス ② おかえり (午後3時より)	参加費無料

短信

① NPO 法人おかやま人権研究センターが発足

昨年11月10日、NPO 法人おかやま人権研究センターが結成総会を開催。岡山人権問題研究所にかかわる方々をはじめ、新たな期待を込めた方も含めて45名が参加されました。定款では、「主に、岡山県内及び近隣地域における社会成員に対して、人権問題に関する研修・研究の機会を提供し、社会成員が相互の開かれた関係の中で、豊かな人権認識と行動規範を獲得することに寄与する」としています。

NPO・地域人権みんなの会の事務所がある岡山県民主会館には、「朝日訴訟の会」、「まちづくりネット岡山」を含めて、4つのNPO 団体が存在することになりました。

② 軽度発達障害児の後期中等教育保障にかかわって

軽度発達障害児の課題を、NPO・地域人権みんなの会の会員でもある前谷孝典さんが具体的に要求してきた経緯があります。その前谷さんからの情報です。

「このたび、県議会において、高等特別支援学校設置に関する予算要求があきらかになったそうです。場所は岡山市と倉敷市の2箇所を設置されとのこと。岡山市では、瀬戸にある高等技術専門学校校舎を使い平成21年春に開校予定。倉敷市では、第5福田小学校の空き教室一棟を使い、平成22年春に開校予定。ただ、教育よりは職業技術に重点を置き、卒業後は就職させていく事に力を入れる構えで、教育の保障の点からは離れた中身のようなようです。」

内容について精査し、また、保護者をはじめとする関係者の要求をまとめて運動化することが求められています。

③ みんなの家ななくさ

12月は31日も通いの方が。年始も元旦から体調を崩された方への対応、そして2日から待ちきれない利用者の方々がななくさに。20人近い利用者と12人のスタッフで頑張っています。